

## 震災からの主な経過(～4月30日)

■青字：市の動き  
■赤字：福島第一原発事故の状態

## ▶3月11日(金)【震災発生初日】



朝6時ごろの薄磯海岸の穏やかな海 (Kouichi Seya氏提供)

- 14：46 三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震(M9.0)が発生(本市震度6弱)  
この地震で福島第一原発1～3号機が自動停止
- 14：49 気象庁が大津波警報を発表
- 14：50 市災害対策本部を設置(市消防庁舎内)  
避難所が開設、食料・寝具等調達を開始
- 14：51 市内沿岸部全域に対し、防災無線で避難指示
- 14：52 小名浜で津波第1波(1.0m)を観測
- 15：39 小名浜で最大3.3mの津波を観測
- 15：42 福島第一原発1～3号機で全ての交流電源が喪失
- 15：45 市内沿岸部全域に対し、サイレン吹鳴で再避難を指示
- 16：30 福島県知事に対し、自衛隊派遣を要請
- 16：36 福島第一原発1、2号機で非常用炉心冷却装置による注水が不能
- 17：55 臨時市長記者会見を開催(全力で震災に対応)
- 18：00 市水道局から断水および節水協力のお知らせ  
救急病院、人工透析病院への巡回給水を開始
- 19：03 福島第一原発について原子力緊急事態宣言が発令
- 21：23 総理大臣より、福島第一原発の半径3km圏内の避難、3km～10km圏内の屋内退避指示が発令
- 23：00 陸上自衛隊が到着、災害支援活動を開始  
●避難所への食料配送を開始(～8/19)  
●市内のほぼ全域で約13万戸が断水  
●非常用地下貯水槽などによる市民への給水を開始  
●JR常磐線・磐越東線の運転が中止  
●常磐自動車道、磐越自動車道が通行止め  
●福島空港行きリムジンバスが通常どおり運行を継続

## ▶3月12日(土)

- 04：10 日本赤十字社福島県支部へDMAT派遣を要請
- 05：44 総理大臣より、福島第一原発の半径10km圏内の避難指示が発令
- 07：45 福島第二原発について原子力緊急事態宣言が発令(12/26解除)  
総理大臣より、福島第二原発の半径3km圏内の避難、3km～10km圏内の屋内退避指示が発令
- 08：00 市消防本部、消防団、DMATが共同で、市内沿岸部全域における救助・救命活動を開始

- 10：00 避難所127カ所、避難者数1万9,813人(最大)
- 10：17 福島第一原発1号機でベントを開始
- 11：00 常磐自動車道、磐越自動車道が緊急交通路に指定
- 15：00 緊急消防援助隊が市内沿岸部での救助・救命活動を開始
- 15：36 福島第一原発1号機で水素爆発が発生
- 17：39 総理大臣より、福島第二原発の半径10km圏内の避難指示が発令
- 18：25 総理大臣より、福島第一原発の半径20km圏内の避難指示が発令
- 19：04 福島第一原発1号機、原子炉への海水注入を開始  
●市長がコメントを発表(落ち着いて表に出ないように依頼)  
●高齢者等要援護者の安否確認開始  
●送水系の基幹管路の復旧が完了し、配水池へ送水を再開  
●市内21カ所に給水所を設置し、風船式給水槽などによる給水を開始  
●いわき平競輪場に、支援物資集配センターを開設  
●災害対策本部に安否情報コーナーを設置  
●津波被災地区における道路上などの流出がれきの撤去を開始(～4月上旬)  
●自衛隊、緊急消防援助隊、市消防本部、消防団が共同で、市内沿岸部全域において救助・救命活動を開始  
●JMATが活動を開始(～5/3)  
●福島空港に臨時便(伊丹空港線)を設定(～3/31)

## ▶3月13日(日)

- 05：10 福島第一原発3号機で冷却機能が喪失
- 08：30 市独自の判断で、久之浜・大久地区住民に自主避難を要請、緊急輸送バス運行にて避難移動を開始(国による屋内退避指示は3/15 11：00発令)
- 08：30 自衛隊、警察、緊急消防援助隊、市消防本部、消防団が共同で、市内沿岸部全域での救助・救命活動を開始(～3/14)
- 17：58 津波注意報解除に伴い、市内沿岸部全域に対する避難指示を解除  
●基幹浄水場、市水道局本庁舎などで24時間給水を開始  
●簡易水道区域のうち田人・遠野全域、川前の一部で給水が可能に  
●市総合磐城共立病院、福島労災病院などが通水  
●市休日夜間急病診療所が診療を再開  
●節車のお願い、ごみ収集休止について市民へ広報  
●市保健所にて、放射線スクリーニング検査を開始  
●市総合磐城共立病院医療スタッフが避難所巡回診療を開始(～4/28)  
●福島空港に臨時便(羽田空港線、中部空港線、新千歳空港線)を設定(羽田～4/10、中部～3/31、新千歳～3/24)

## ▶3月14日(月)

- 11：01 福島第一原発3号機で水素爆発が発生
- 13：25 福島第一原発2号機で冷却機能が喪失  
●市役所窓口業務を一部再開(以後、順次再開)  
●外国人相談窓口を開設

- 避難所ごみ、避難所し尿の定時収集を開始
- 市公式ホームページに「災害関連メニュー」を追加
- 被災医療機関からの転院搬送を開始(3/24、25)
- 福島空港に支援物資が到着、県内各地へ搬送(～5/2)

## ▶3月15日(火)

- 04：00 市内で最大放射線量を観測(23.72マイクロシーベルト/時)
- 06：10 福島第一原発2号機で衝撃音
- 06：14 福島第一原発4号機が爆発により一部損傷
- 09：30 市独自の判断で、小川町上小川字戸渡地区、川前町下桶売地区の一部(志田名・荻)に自主避難を要請(国による屋内退避指示は、同日11：00発令)
- 09：45 市長がメッセージを発表(不要不急の外出を控えるようお願い)
- 11：00 総理大臣より、福島第一原発の半径20～30km圏内の屋内退避指示が発令(小川町、川前町、久之浜町、大久町の一部が対象区域に設定)
- 13：17 原発避難のため、磐越自動車道いわき三和IC・小野IC、常磐自動車道いわき勿来IC・いわき湯本IC・いわき中央ICを開放  
●要望活動【民主党・自民党関係】(避難先確保、物資確保)  
●休日救急歯科診療が開始(～4/3)  
●重症患者の管外医療機関への救急搬送を開始(～3/30)

## ▶3月16日(水)



人々が消えた午前8時30分ごろのいわき駅前(FMいわき提供)

- 05：45 福島第一原発4号機の建屋4階部分で火災が発生
- 08：30 自衛隊、警察、市消防本部、消防団が共同で、市内沿岸部の搜索活動を開始(～4/26)
- 10：40 市長がメッセージを発表(①市民の皆様への冷静な行動のお願い、②医薬品提供、③避難所への配送業務、④水道復旧作業協力をお願い)  
●水道水の放射性物質測定を開始  
●被災建築物応急危険度判定を開始(～6/5)  
●国および県と共同で、タンクローリー8台分のガソリンと軽油を市内11カ所の給油所に供給  
●小名浜石油㈱へ石油の公共放出を要請  
●市災害救援ボランティアセンター開設  
●小名浜港藤原ふ頭、緊急物資受入岸壁の供用を開始

## ▶3月17日(木)

- 08：30 常磐西郷町の忠多団地に避難勧告

- 09：30 市長がコメントを発表(政府調達ガソリンの供給について)
- 09：48 福島第一原発3号機で陸自ヘリにより使用済燃料プールへの散水(約30t)を開始(～10：01)  
●市義援金の受け入れを開始  
●草野小学校で自衛隊入浴サービスを開始(～3/19)

## ▶3月18日(金)

- 09：00 市長がメッセージを発表(安定ヨウ素剤の配布について)→妊婦・40歳未満の方に、安定ヨウ素剤の配布を開始
- 17：48 福島第一原発事故について、原子力安全・保安院がINES(国際原子力・放射線事象評価尺度)の暫定評価結果を1号機、2号機および3号機はレベル5、4号機はレベル3と発表(4/12に1号機、2号機および3号機についてレベル7に引き上げ)

- 市立幼稚園、小学校卒業式を中止
- 高速バスいわき～東京線の運行が再開
- 小名浜港に震災後、初めて緊急物資運搬船が入港

## ▶3月19日(土)

- 08：00 市長がメッセージを発表(市内災害弱者の支援)
- 18：30 市長がコメントを発表(ガソリンの確保・供給)

## ▶3月20日(日)

- 福島県と小名浜石油㈱の後押しで市内給油所や病院にガソリンと灯油を供給(～3/26)
- 知的障がい者33人を神奈川県へ船で移送(～4/11)
- 障がい者福祉施設等への支援物資配布を開始(～4/4)
- 老人福祉施設などへの支援物資配布を開始(～4/6)
- いわき市医師会が臨時診療所を開設(～3/21)

## ▶3月21日(月)

- 13：30 市長がメッセージを発表(市民への食料等の配布)→市民への食料等の配布を開始(～3/28・計6回)
- 常磐自動車道いわき中央IC～水戸ICの一般車両通行止めが解除

## ▶3月22日(火)

- 市総合磐城共立病院が外来通常診療を再開
- ごみ収集を一部再開(燃やすごみ・週1回)
- 市内路線バスの6路線が日祝日ダイヤでの運行を再開
- 大手コンビニの一部が再開(以後順次再開)

## ▶3月23日(水)

- 07：12 福島県浜通りを震源とするM6.0の地震が発生(本市震度5強)
- 07：36 福島県浜通りを震源とするM5.8の地震が発生(本市震度5強)
- 17：30 水道水測定の結果、放射性ヨウ素が103ベクレル



## 5 震災からの主な経過

/kg検出され、乳児の水道水摂取を制限(～3/31解除)→乳児に対するペットボトル水の配布を開始(～3/31)

18：55 福島県浜通りを震源とするM4.7の地震が発生(本市震度5強)

21：00 市水道局が「給水復旧計画」を策定

●市内の水道復旧率が5割に

●避難所買物バスの運行を開始(～3/26)

●港区スポーツセンターにおいて支援物資受け付けを開始(～3/31)

### ▶3月24日(木)

●津波被災家屋等への消毒資材配布を開始(～7/22)

●磐越自動車道いわきJCT～津川ICの一般車両通行止めが解除

### ▶3月25日(金)

11：46 内閣官房長官記者会見にて、福島第一原発の半径20km～30km圏内の住民の自主避難を促す

●保育所等への飲料水等の配布を開始(～4/7)

●このころから郵便の集配再開



上空からの現場視察前に自衛隊員から説明を受ける市長

### ▶3月26日(土)

11：00 市長がメッセージを発表「震災から2週間を経過して」

●要望活動【政府、民主党、自民党関係】(市民生活の安寧〈生活支援、生活確保、風評被害の解消〉)

### ▶3月28日(月)

●り災証明の現地調査を開始

●いわき市議会東北地方太平洋沖地震対策本部を設置

●臨時市長記者会見を開催(総合窓口の設置、住宅の一時提供)

●要望活動【政府・民主党・自民党関係】(農林水産物の風評被害の解消)

●FMいわきに臨時災害放送局を設置、通常出力の20Wを100Wへ増幅(～5/27)

●市内38公立保育所のうち、18保育所で業務を再開

●このころから市内スーパー、コンビニが本格再開

### ▶3月29日(火)

●総合窓口を市文化センターに開設

●臨時市長記者会見を開催(ごみ収集全面再開、家庭から出た災害ごみの受け入れなど)

●市被災救助費等、各種給付金の申請受け付けを開始

●一時提供住宅入居者の一次募集を開始(～4/8)

●小名浜港に震災後、初めて民間の大型石油タンカーが入港



市文化センターに設置した総合窓口

### ▶3月30日(水)

●家庭から出た災害ごみの受け入れを開始(市内3カ所)

●中央台公民館で自衛隊入浴サービスが開始(～5/30)

### ▶3月31日(木)

●避難所における栄養相談を開始

### ▶4月1日(金)

17：31 「東日本大震災」の呼称が閣議で決定

●避難所における医療相談を開始

●要望活動【政府、民主党、自民党、県知事関係】(福島第一原発災害の早期収束、風評被害の解消ほか)

●常磐自動車道いわき中央IC～いわき四倉ICの一般車両通行止めが解除

### ▶4月3日(日)

●避難所入浴バスの運行を開始(～5/28)

### ▶4月4日(月)

●市災害対策本部を市文化センターに移転

●生活福祉資金(緊急小口資金)の特例貸付制度受け付けを開始

●ごみ収集を全面再開

●り災証明書の発行を開始

●市災害救援ボランティアセンターの窓口を市社会福祉協議会に一本化

### ▶4月5日(火)

●臨時市長記者会見を開催(津波により損壊した家屋の撤去など)

### ▶4月6日(水)

●市立小中学校入学式を実施(被災地区などの小中学校では市文化センターで入学を祝う会を実施)

●要望活動【県知事】(水産業への対応)

●要望活動【原子力安全・保安院】(放射性物質の海洋放出)

●敷地内流出がれきの撤去を開始(～7月末)

●市内路線バスが一部路線を除き通常運行を再開

### ▶4月7日(木)

23：32 宮城県沖を震源とするM7.2の地震が発生(本市震度4)

23：34 気象庁が津波注意報を発表(翌日00：55解除)

●市立幼稚園入園式を実施

### ▶4月8日(金)

●臨時市長記者会見を開催(当面の緊急雇用対策)

### ▶4月9日(土)

●「がんばっぺ！いわき オールいわきキャラバン」を市内5カ所で開催(～4/10)

●要望活動【政府、民主党、自民党関係】(水産業への対応)

●NPOが中心となり、勿来地区災害ボランティアセンターを設立(～5/20)

### ▶4月10日(日)

●市内水道がほぼ復旧(津波や地滑りの被災地区を除く)

●保健師などによる津波被害地区の訪問活動を開始(～6/7)

### ▶4月11日(月)【東日本大震災発生から1カ月】



災害対策本部で黙祷

14：46 サイレン吹鳴とともに市内で黙祷

17：16 福島県浜通りを震源とするM7.0の地震が発生(本市震度6弱)

17：18 気象庁が津波注意報を発表(同日18：05解除)

18：19 田人町石住字貝屋地内で土砂崩れが発生、家屋が倒壊し、救助・救命活動を開始

19：00 市長がメッセージを発表(本市が「緊急時避難準備区域」の対象とはならないことについて)

## 5 震災からの主な経過

19：30 市水道局から余震による断水および節水協力のお知らせ

●同日の余震により市内約10万戸が再び断水

●住宅の応急修理制度の申請受け付けを開始

●JR常磐線普通列車いわき駅～高萩駅で運転再開するも同日の余震により運転見合わせに

●同日の余震により常磐自動車道、磐越自動車道が通行止め

### ▶4月12日(火)

14：07 福島県中通りを震源とするM6.4の地震が発生(本市震度6弱)

●前日の余震により、市立小中学校休校(～4/17)

●「がんばっぺ！いわき オール日本キャラバン(第1弾)」を東京都港区で開催(～4/13)

●常磐自動車道いわき湯本IC～いわき四倉IC、磐越自動車道いわきJCT～小野ICの一般車両通行止め解除

### ▶4月13日(水)

08：00 田人町石住字才鉢地内の土砂崩れ現場において、救助・救命活動を開始(～4/16)

●余震により運転を見合わせていたJR常磐線普通列車の運転が再開

●小名浜港に震災後、初めて内航貨物船が入港

### ▶4月14日(木)

●第1回東日本大震災いわき市義援金配分委員会を開催

●臨時市長記者会見を開催(一時提供住宅提供開始、義援金の配分)

●要望活動【県知事】(福島第一原発災害の早期収束ほか)

●常磐自動車道いわき勿来IC～いわき湯本ICの一般車両通行止めが解除



市長が田人町の被災現場を視察

### ▶4月15日(金)

14：00 田人地区(貝屋・神山・才鉢・堀越)に避難指示(4/16 18：00解除)

●市義援金の申請受け付けを開始

●JR磐越東線いわき駅～小野新町駅の通常運転が再開

### ▶4月16日(土)

●一時提供住宅(雇用促進住宅・民間借上住宅)提供を開始